

一人ひとりの暮らしの 今と未来のために

～令和8年度のお金の使い道をお知らせします～

令和8年市議会第1回定例会の冒頭で内田市長が述べた施政方針の要約

我が国を取り巻く環境は、少子高齢化の進行という構造的な課題に加え、急激な物価高騰をはじめとした経済情勢の変化により、市民の暮らしは先行きが見通しにくい時代となっております。

このような状況においても、市民の生命と財産に直結する安全・安心を確保することが、行政に課せられた最大の責務であり、時代が変わっても決して揺らぐことのない根幹です。

一方で、人口構造の変化や市民ニーズの多様化

が進む現在、これまで築いてきた制度や仕組みが、将来においても最適であり続けるとは限りません。固定観念にとらわれず、想定を超えることさえも想定しながら、改革を重ねていく不断の努力と決断こそが、真に持続可能なまちを築いていくこととなります。

私は、市政を預かる者として、市民一人ひとりの暮らしの今と未来に真正面から向き合い、必要な改革を一步一步着実に前へ進めていく覚悟で

す。そして、すべての市民が幸せを実感し、このまちで生き、暮らすことに誇りを持ち続けられるよう、市民の皆様とともに全力でまちづくりを進めてまいります。

施政方針の全文は市ホームページでご覧になれます

令和8年度の主な予算を紹介

一般会計予算
総額872億円

市では、毎年4月から翌年3月までを一つの区切りとして、お金の使い道を考えています。どの仕事にどれくらいお金を使うかを決めた計画を「予算」といいます。市の仕事は、この予算に沿って進められます。市がどんな仕事をするかは、「総合計画」と「実施計画」という2つの計画をもとに決めています。「総合計画」は、10年後や20年後、まちをどんな姿にしたいかを描き、そのためにどんな取り組みをしていくかを示した

た長期的な計画です。「実施計画」は、その総合計画を実現するために、これから数年間で何をやるのかを具体的に決めた計画です。令和8年度の当初予算は、実施計画をしっかりと進めていくことを大切に編成しました。特に、「市民の暮らしをしっかりと支えるための土台づくり」や、「未来を担う子どもたちが元気に成長できるようにするための支援」などに力を入れていきます。

詳しい内容は、市ホームページでご覧になれます。

▶ 令和8年度当初予算書 ID 1046970
▶ 実施計画 ID 1007192

基本目標①

育み学び 誰もが成長する まちへ

0～2歳児保育料無償化

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和8年4月から0～2歳児の保育料を無償化します。



(仮称)美浜北こども発達ステーション 整備事業

3738万9000円

現在休園している美浜北認定こども園を転用し、就学に向けた発達支援の充実を特色とする施設として整備します。令和8年度は必要な改修の設計を進めます。



いちよう学級第3整備事業

2430万1000円

現在猫実・入船地区にある、不登校児童・生徒の支援を行ういちよう学級について、利用者が増えていることや、市内西側の学校区にないことから、3つ目のいちよう学級を東野地区に整備します。令和10年度の開室に向け、工事設計を進めていきます。



(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業

2億2111万1000円

子どものための図書館を中心とし、子どもの自主的な読書活動や交流の促進に加え、親子の居場所としての役割や相談ができる子育て支援機能を備えた、複合的な施設を整備します。



子育て支援施設整備事業

1億3471万円

子どもの育ちと子育てを切れ目なくサポートするため、子どもの居場所と相談体制の機能を備えた「子ども・青少年プラザ」を整備します。令和8年4月から、北栄地域の「放課後児童交流センター」を、新たに「浦安駅前こども・青少年プラザ」として拡充します。また、令和9年度には、新浦安駅前のマーレ内に「新浦安こども・青少年プラザ」を整備します。



幼児教育センター整備事業

550万円

質の高い保育・教育が受けられるよう、保育・教育職の能力の向上を図るための施設として、(仮称)幼児教育センターの設置に向けた検討を行います。

特別支援学級の充実

248万6000円

令和7年度に全小・中学校への設置が完了した特別支援学級について、個に応じた指導を充実させるため、さらに、知的学級と自閉症・情緒学級を整備していきます。

未就学児保育・教育施設等の 適正化検討事業

1100万円

共働き世帯の増加などにより、市立幼稚園・認定こども園は園児が定員を下回る状況が続いています。社会環境の変化を見据え、ニーズに応じた施設などの適正化を図る実施方針や具体的な計画を策定します。



基本目標②

誰もが健やかに 自分らしく 生きられるまちへ

高齢者・障がい者外出支援の拡充

3310万4000円

高齢者や障がいのある方の社会参加を促進するため、外出支援助成金の金額の引き上げを行います。



敬老祝い写真撮影

5582万2000円

高齢者の方々への敬意と長寿を祝福するため、数え80歳以上の方が、写真店でご本人やご家族との写真を撮影する機会を提供します。



介護人材確保事業

6555万円

介護事業所に勤務している専門職の負担を軽減し、本来の業務に注力できる環境を整備するため、介護事業所に勤務する事務職員の人件費の補助制度を創設します。



自治会集会所・老人クラブ施設整備事業

3億1265万5000円

地域の活動拠点となる、自治会集会所、老人クラブ会館を整備します。



基本目標③

安全・安心で 快適なまちへ

(仮称)日の出地区防災スポーツ施設等整備事業

3006万3000円

大江戸温泉物語浦安万華郷の跡地に、防災力を強化するとともに、市民がスポーツを楽しむ機会の充実を図るため、防災スポーツ施設の整備などを行う事業者を選定します。



境川水辺空間整備事業

4615万8000円

地域のにぎわい創出や魅力向上のため、各種イベントの実施や水質改善に係る社会実験などの取り組みを行います。また、市役所前親水テラスの再整備に向け、住民ワークショップを行いながら設計を進めます。



路面下空洞調査対策事業

1億1218万9000円

他自治体における道路陥没事故を踏まえ、安全・安心で円滑な通行を確保するため、雨水マンホールの調査を実施します。同時に、より適正なライフラインの維持管理に向け、道路地下空洞調査計画を策定します。



境川水門整備検討事業

1758万9000円

境川河口部への水門・排水機場の整備を促進するため、整備手法や推進方策の検討を進めます。



公道防犯カメラ整備事業

2303万7000円

現在運用している防犯カメラのうち、経年劣化した24台を更新します。また、新たに10台の防犯カメラを市内の公道に増設します。



北栄四丁目地区歩道整備事業

1650万円

大型車両の通行が見られる中、狭い歩道や歩道のない道路があることから、歩道環境の整備に向けて実施設計に取り組みます。



基本目標④

多様な機能と 交流が生み出す 魅力あふれる まちへ

境川河口部エリア整備事業

6672万6000円

高洲海浜公園と総合公園との間に位置する未利用地に、市民がみどりや水辺に親しめる空間を、官民連携により整備します。令和8年度は事業者の募集と選定を行います。



産業交流促進支援事業

300万円

中小企業者の産業交流を促進し、新たな販路拡大の機会を創出するため、産業展示会などへの出展に要する経費の一部を補助します。



当初予算の概要

問 財政課 ☎712・6179

ID 1046970

令和8年度の当初予算は、一般会計予算が872億円で、前年度当初予算と比べて3.3%の増。一般会計と特別会計、公営企業会計の合計は1185億9800万円で、前年度当初予算と比べて2.2%の増となりました。

令和7年度当初予算は、3月に市長選挙を控えていたことから、経常経費を中心とした骨格予算として編成しました。その後、新たな施策展開を推進するための新規事業を盛り込んだ肉付け予算として、6月補正予算を編成しました。そのため、前年度比較は令和7年度6月補正後の予算額と比較しています。 ※端数処理のため、合計値が合わない場合があります

当初予算の推移

年度	一般会計	特別会計	公営企業会計
令和4年度	682億円	227億2400万円	52億300万円
令和5年度	761億円	237億6900万円	54億3400万円
令和6年度	800億円	246億900万円	56億4800万円
令和7年度	844億4350万円	252億5300万円	63億6900万円
令和8年度	872億円	255億7000万円	58億2800万円

※令和7年度当初予算は骨格予算であったため、6月補正後予算額

令和8年度当初予算 (▲は減)

会計区分	予算額	前年度比増減率
一般会計	872億円	3.3%
特別会計	255億7000万円	1.3%
国民健康保険	121億3800万円	▲2.0%
墓地公園事業	4億4300万円	▲25.4%
介護保険	101億4000万円	2.7%
保険事業勘定	88億7300万円	3.3%
介護サービス事業勘定	12億6700万円	▲1.3%
後期高齢者医療	28億4900万円	18.5%
公営企業会計(下水道事業)	58億2800万円	▲8.5%
総額	1185億9800万円	2.2%

一般会計

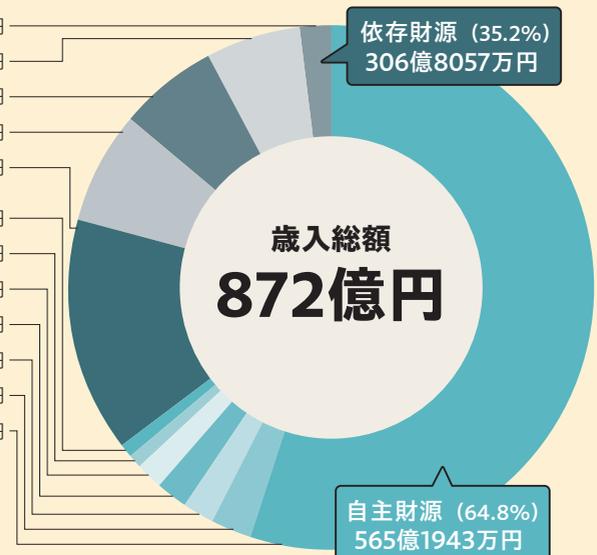
歳入

- ▶ 市民税は、個人市民税が9.5%の増を見込み、市税全体では前年度に比べ1.2%増えました
- ▶ 国庫支出金は、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金やデジタル基盤改革支援補助金の減などにより、前年度に比べ4.2%減りました
- ▶ 市債は、集合事務所改修事業債や今川地区保育園建設事業債の増などにより、前年度に比べ7.4%増えました

自主財源 市民税・固定資産税などの税金、施設などの使用料、ごみ処理手数料、保育料など

依存財源 国・県からの補助金、地方交付税、市が国などから借りるお金など

そのほか ^{※2}	(1.9%)	16億3287万円
地方消費税交付金	(5.7%)	50億円
県支出金	(6.1%)	52億9666万円
市債	(7.0%)	60億6820万円
国庫支出金	(14.5%)	126億8284万円
そのほか ^{※1}	(0.7%)	6億1859万円
財産収入	(0.8%)	7億2674万円
使用料および手数料	(1.8%)	15億5776万円
諸収入	(1.9%)	16億2778万円
繰入金	(2.1%)	18億79万円
寄付金	(2.4%)	21億137万円
市税	(55.1%)	480億8640万円



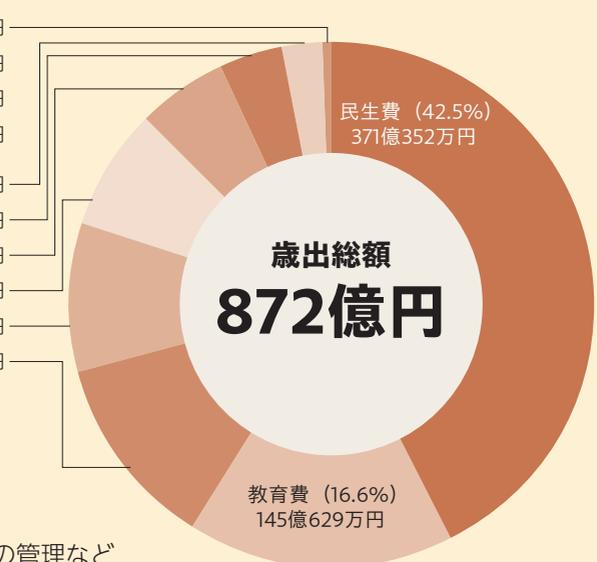
※1 繰越金、分担金および負担金

※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

歳出

- ▶ 民生費は、障がい者福祉施設指定管理事業などの減があるものの、今川地区保育園建設事業や障がい福祉サービス等給付事業、私立保育所等運営費などの増により、前年度に比べ7.7%増えました
- ▶ 教育費は、各小学校エアコン更新事業などの減により、前年度に比べ2.6%減りました
- ▶ 総務費は、集合事務所改修事業や新浦安駅前複合施設マーレ管理運営費などの増により、前年度に比べ15.1%増えました
- ▶ 土木費は、道路計画修繕事業や堀江猫実中央地区整備事業、道路照明施設更新事業(2期)などの増により、前年度に比べ11.2%増えました

そのほか	(0.5%)	4億5102万円
議会費	(0.4%)	3億4376万円
予備費	(0.1%)	1億円
農林水産業費	(0.0%)	726万円
商工費	(2.3%)	20億1670万円
消防費	(4.0%)	34億6593万円
公債費	(5.5%)	48億346万円
衛生費	(7.6%)	66億5460万円
土木費	(9.2%)	80億3299万円
総務費	(11.7%)	101億6549万円



民生費 年金、生活保護費、各種福祉手当、福祉施設・保育所の管理・運営など

教育費 幼稚園、小・中学校、公民館、図書館、スポーツ施設の管理・運営など

総務費 市役所の管理、徴税事務、選挙、広聴・広報、防犯対策、防災対策、文化施設の管理など

土木費 道路・橋・公園・河川・市営住宅の管理、市街地の整備、都市計画など

衛生費 各種健康診断、予防接種、公害対策、ごみ処理施設の管理・運営など

公債費 市債(市の借金)の返済に使われるお金

消防費 消防署の管理・運営、防火・消火・救急活動など

商工費 中小企業などの商工業振興、観光推進、消費者対策など

議会費 議会活動など

農林水産業費 漁港施設の管理・整備など